

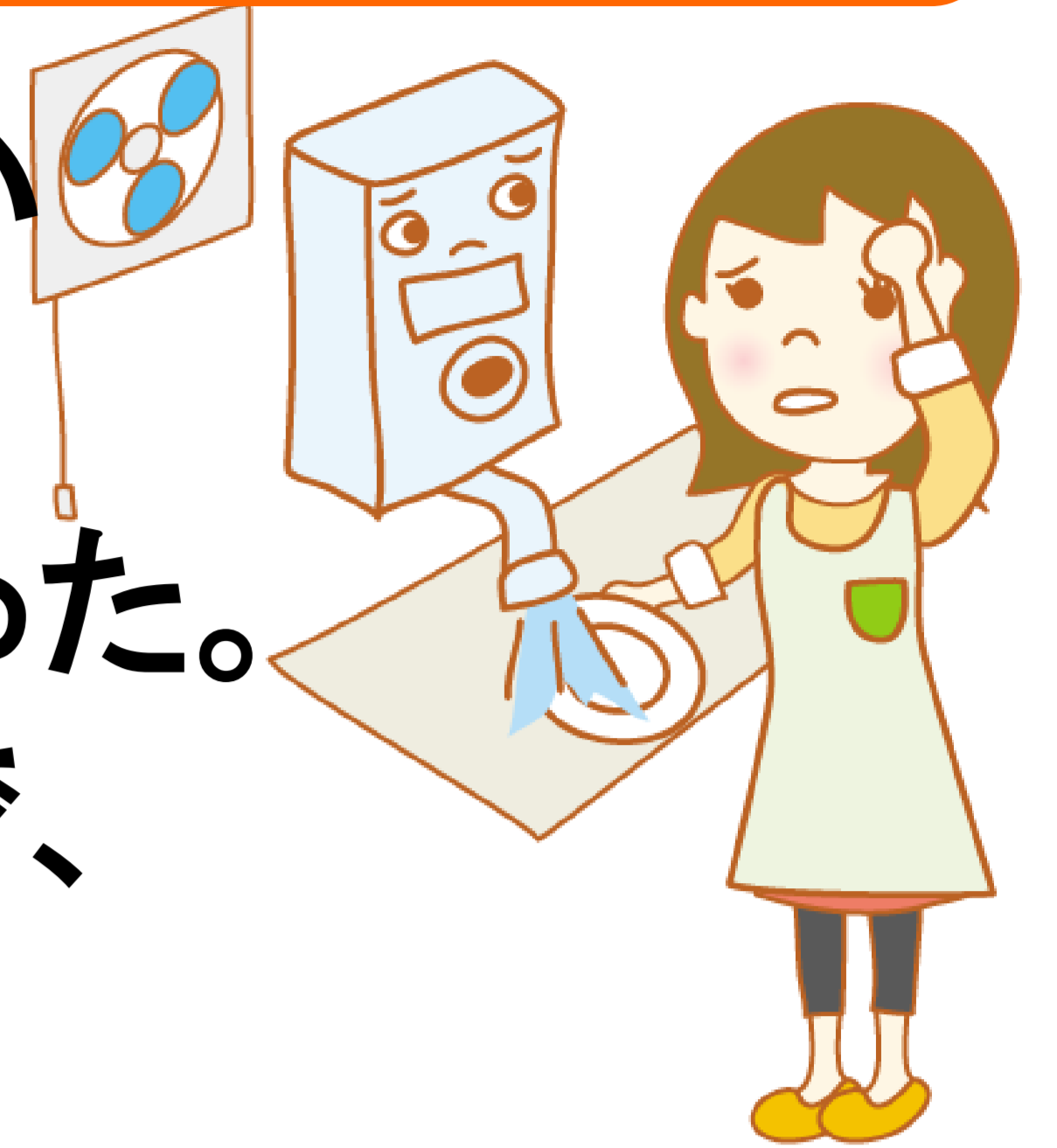
一酸化炭素中毒の事故

事故の概要

【事例①】ガス湯沸器を使用中、1人が死亡、1人が軽い一酸化炭素中毒になった。

【事例②】死亡事故が発生し、現場に石油ストーブがあった。

【事例③】携帯発電機(ガソリン燃料)を使用中の室内で、3人が死亡した状態で発見された。

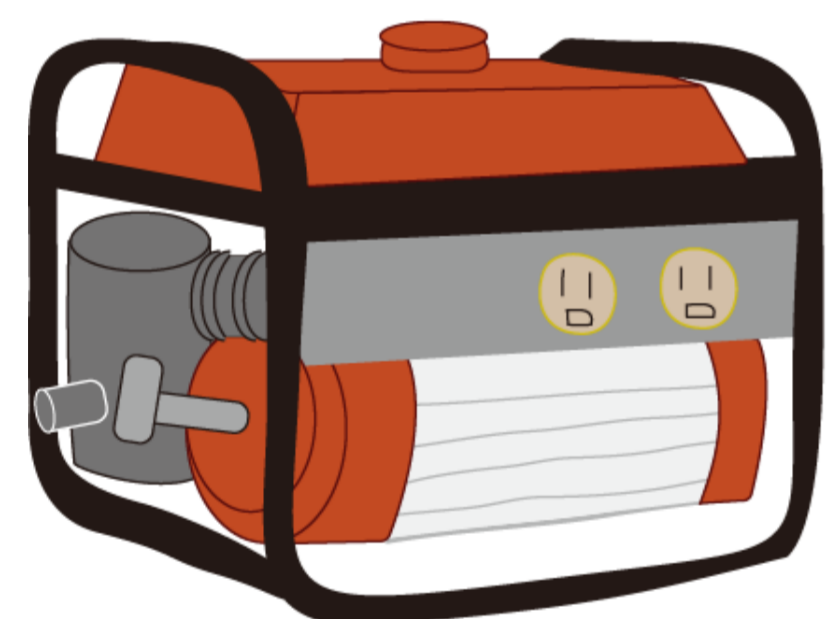
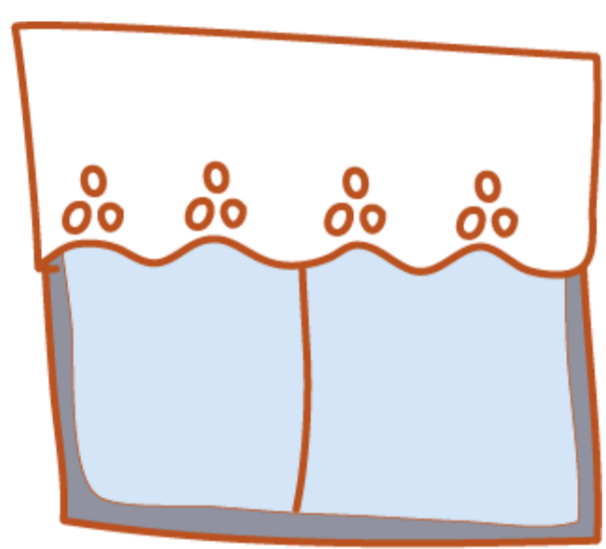


事故の原因

【事例①】換気扇を使用しなかったため、換気不良により一酸化炭素が室内に滞留しました。また、長期間の使用(約34年)により、ガス湯沸器にホコリとススがたまって一酸化炭素濃度が高くなりやすい状態でした。



【事例②】閉め切った寝室で石油ストーブを長時間使用していたため酸素が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素濃度が上昇したものです。



【事例③】発電機を換気をしていない室内で使用していたため、排気ガスがこもって一酸化炭素中毒に至ったものです。



事故防止のために

◆ガス湯沸器や石油ストーブ、石油ファンヒーターを使用するときは、定期的に換気をしてください。換気が不十分だと、酸素が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素濃度が上昇して中毒に至るおそれがあります。

◆ガス湯沸器やガス給湯機は、長期使用でホコリやススがたまると不完全燃焼を起こしやすくなります。定期的に掃除をしたり、事業者から点検を受けてください。

◆携帯発電機は、室内や換気の悪い場所などで使用しないでください。排気ガスがたまって一酸化炭素中毒になります。

